

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	市道中子田諸熊線舗装補修事業	西都市	18,133,000	18,133,000	総事業費 20,639,738

(備考) 事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	市道中子田諸熊線舗装補修事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		西都市		
交付金事業実施場所		西都市大字三納		
交付金事業の概要	<p>市道中子田諸熊線は西都市西部の三納地区を南北に走る地域の幹線道路であり、県道を結ぶ路線であるため、地域内のみならず市外から通過交通もあり、交通量も多いことから、ひび割れ等の発生が著しく、水溜まりや段差の原因となっています。また、平成25年度の路面性状調査で損傷が確認されている路線については平成28年度から計画的に補修を実施しており、本年度実施する中子田諸熊線の特に関が著しい区間の舗装補修工事に交付金を充当します。</p> <p>(事業量) 道路舗装 アスファルト舗装 (施工延長 L=661m、舗装面積 A=4,363㎡、車道幅員 W=6.2m、区画線 L=2,025m)</p>			
総事業費	20,639,738	交付金充当額	18,133,000	
		うち文部科学省分 うち経済産業省分	18,133,000	
交付金事業の成果目標	西都市では、平成25年度に実施した路面性状調査で損傷が確認されている路線については平成28年度から計画的に補修を実施しており、舗装補修工事の実施により、車両通行の安全性の確保、地域住民の利便性向上につながります。			
交付金事業の成果指標	西都市の舗装補修計画の中で、電源立地地域対策交付金において舗装補修を予定している3箇所において、平成29年度で65%完了を目標として取り組んでいます。			
交付金事業の成果及び評価	平成29年度施工延長 L=661m、進捗率65%を達成でき、車両通行の安全性の確保、地域住民の利便性向上につながるものと評価できます。			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法等	契約の相手方	契約金額
舗装補修工事の実施		指名競争入札	株式会社 宮本組	20,639,738円
		計		
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度 H33	

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条（目的）を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載